

令和2年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGsプロジェクト事業 最終報告会開催内容（案）

1 場所・日時等

（1）場所

- ・オンライン（Zoom Webinar）での開催とする。
- ・事務局は株式会社かいはつマネジメント・コンサルティングの会議室から参加。

（2）日時

- ・ 3月3日（水）14:00-17:30（3時間半）

（3）対象者

森林空間の活用に関心のある自治体、保育・教育関係者、自然関係団体、企業、研究者、メディア等、100名程度

2 内容

14:00-14:05 開会あいさつ

14:05-14:30 基調報告「SDGs時代に対応する森林空間を活用した教育のあり方」（室長）

14:30-15:20 事業概要報告

- ① 全体報告（森林教育イノベーションを中心に。宮林座長）（20分）
- ② 森林の新たな楽しみ方を提案する森林モニターツアー実施報告（15分）
- ③ 2050年の未来予想図ワークショップ実施報告（15分）

15:20-16:20 事例報告

- ① 森林環境教育に立脚した地方創生を実現（長野県泰阜村グリーンウッド自然体験教育センター）（20分）
- ② 【森林 x 公教育】学校と”共に創る”森林環境教育の道筋（ホールアース自然学校福島校）（20分）
- ③ すべての人と森をつなぐ体験を提供（岐阜県立森林文化アカデミーmorinos）（20分）

16:20-16:30 休憩

16:30-17:25 パネルディスカッション

- ・ 司会：宮林座長
- ・ 登壇者：優良事例の担当者、検討委員会天笠委員、竹内委員、室長
- ・ 議題：つたえる、感じる、つながる森林環境教育のためにできること（仮題）
 - ① 話題提供：「学校教育と森林環境教育のつながり」天笠委員、竹内委員（5分×2）
（学校教育と森林環境教育が、今はつながっていないことが課題であるという話。）
 以下のトピックについてパネリストから意見をもらう（30分）
 - 学校教育での森林環境教育を増やすには？
 - 別関心層を森林空間に呼び込む工夫とは？

- 世代間（乳幼児期から学童期、学童期後半から青年期等）の森林体験のギャップを埋めるには？

②質疑応答（15 分） 全員

17:25-17:30 閉会挨拶